

## 第27回雲南市水道事業に関する審議会 議事録

1. と き：平成27年5月27日(水) 午後1時30分～午後3時

2. ところ：雲南市水道局1階会議室

3. 出席者

(審議会委員)

和泉利男会長、高橋美智子副会長、安部幸治委員、加本恂二委員、渡部弘明委員  
 駿馬重弘委員、堀江貞男委員

(委員7人)

(事務局)

藤井 勤副市長

稲田 剛水道局長、岸野俊一次長(総務課長)、飯島 昭工務課長、土屋和則営業課長、  
 菅田雅人下水道課長、村重悦子GL、高橋主幹 (事務局8人)

[次第]

1. 開会

(1) 欠席者の報告

(永井尚二委員、太田明美委員、江角一津江委員、入澤広子委員、西村忠明委員…5人)

(2) 雲南市水道事業に関する審議会条例第6条第2項に基づき、委員の半数以上が出席しており  
 会議が成立していることを報告。

2. あいさつ

(1) 和泉利男 審議会会長

(2) 藤井 勤 副市長

-----以後、審議会条例第6条第3項に基づき、会長が議長となる-----

3. 審 議

事務局

(1) 平成27年度雲南市水道事業会計、工業用水道事業会計、簡易水道事業特別会計の予算  
 概要について説明【総務課】

(2) 平成27年度水道局事業計画について説明【工務課】

[質疑・応答]

会 長

海潮の簡易水道事業が上水道の所に入っているのは。

事務局

旧大東町時代に大東の簡易水道(海潮、久野)については、企業会計化されておりました。

会 長

上水道会計となっても簡易水道としなければならないのか。

事務局

上水道事業と簡易水道事業は、5、000人以上か未満での区分がありますので、区分上簡易水道となります。法適用されている簡易水道は企業会計を適用します。

会 長

工業用水も減ってきて赤字となっている。どのように補填しているのか。

事務局

工業用水の損益分岐点は3、000 m<sup>3</sup>/日であり、現在の契約水量は1、000 m<sup>3</sup>/日となっています。今年度中は増えていっても1、600 m<sup>3</sup>/日であり赤字基調は変わりません。

会 長

このあいだ新聞に相当な投資をするような記事があったが、今後使用水量が増えていくのか。

事務局

工業用水の損益分岐点は3、000 m<sup>3</sup>/日であり、現在の契約水量は1、000 m<sup>3</sup>/日となっています。今年度中は増えていっても1、600 m<sup>3</sup>/日であり赤字基調は変わりません。

島根三洋とは当初予算作成前と、新年度4月に受水量の協議を行いました。そのなかで、工程の見直しで洗浄回数を減らしたり、水も再利用をされたりという話を伺っております。

そういった状況から、今後劇的に使用水量が増えていくということにはならないのではないかと感じました。

副市長

山陰中央新報に記載されておりましたように国内2工場で約90億の投資をされるようです。先般社長と面談する中で、家庭用の太陽光発電パネルのシェアはパナソニックがトップで、会社としてはここに力を傾注していくという方針のようです。三洋のパネルは効率が良いということのを売りにしていますが、価格が高いという面もありコストを下げるという事も重要となり、水量の使用量抑制というようなコストカットも進めておられるわけです。

投資をされるという明るい兆しもありますが、それに比例して工業用水の使用量が増えていくのかは状況をみないとわかりません。

会 長

事務所経費等の共通経費など、下水道会計との兼ね合いはどうなっているのか。

事務局

共通経費は、下水道の会計からも支出しています。

会 長

他に何かありますか。

では続いて事業計進捗状況の説明をお願いします。

---

[質疑・応答]

委員

給水区域外で、井戸が枯れて転居されたというような事例がある。

事務局

飲用井戸については市民環境部が担当となっています。現在、飲用井戸の対策について検討中と聞いております。本日、審議会でもそういった事例のお話があったことを市民環境部に伝えておきます。

委員

5月の審議会でアンケートを行うと聞いていたが対象範囲はどう考えておられるのか。

事務局

アンケート対象は市内全域を考えています。ただ、全戸配布ではなく、抽出して行います。アンケートの内容は、現在検討中であります。

委員

アンケートと現在進めておられる水道総合整備計画との関わりは。

事務局

アンケートの結果については、総合整備計画へ反映していきたいと考えています。

事務局

今年の市政懇談会で、吉田の深野簡水の更新計画についてお話しをさせていただきました。水道局としましても、住民の皆様のご要望に早期にお応えできるようにと考えております。

委員

当時の工事は掘った土でそのまま埋めているので破損事故も多い。

事務局

委員が言われますように当時は発生土で埋戻ししておりますので状態は悪いですし、道路改良工事などで移設もされていませんので、埋設深が深くなっている箇所もあります。そういった箇所は漏水がわかりにくいといった状態にあり、有収率も悪い状況です。深野簡水については、管路の更新を行います。

また、掛合の波多簡水も有収率が悪く、漏水が多いところでしたが、漏水調査により漏水箇所が判明し、修理を行いました。今後も適時漏水調査を行って有収率の向上に努めたいと考えています。

会長

他に何かありますか。

では続いて収納状況の説明をお願いします。

---

事務局

(1) 収納状況について説明【営業課】

[質疑・応答]

会 長

不納欠損はもう処理したのか。

事務局

すでに行っています。6月議会で報告し、承認を頂いております。

会 長

他に何かありますか。

では全体を通して何かありますか。

委 員

雲南市のハザードマップが出ている。見ると下熊谷の浄水場も浸水することになっているが、そうなれば機能不全を起こす。機器被害想定はできているのか。

事務局

機器の個別具体の被害想定はできていません。

委 員

水道について雲南市全体の被害想定をつかんでおく、また被害への対応、マニュアルも考えておく必要があるのでは。

事務局

詳しいものは作っていないので、委員が言われますように整備する必要があります。木次上水と大東上水、加茂上水と大東上水を連結し、相互融通ができるように整備しました。対応マニュアルはできていないので、ご意見を今後活かしたいと考えます。

委 員

万が一に備え、検討してもらいたい。

事務局

今年、雲南市と雲南市建設3団体とで災害協定を結びました。今年中に、雲南市水道協会と水道局とで合同訓練を行うことにしています。

副市長

気候が亜熱帯化をしている状況にあり、雲南市でも広島で起きたような災害が起きうると考えています。雲南市建設3団体とで災害協定を結び、発生してからの早期対応はご協力をいただける体制が整いましたが、まず住民の皆さんの安全確保のため早めの避難を雲南市としても対応していくことを考えております。

会 長

他に何かありますか。

では以上で審議を終わります。

会議終了 午後2時20分